

目 次

I. 総括研究報告書

内分泌かく乱化学物質（ダイオキシン類を含む）の胎児・新生児暴露による

リスク予測に関する総合研究（H16-化学-003）

江馬 真 ----- 1

II. 分担研究報告書

1. 奇形の受容体シグナルを介した発生メカニズムの解析

江馬 真/高木 篤也 ----- 15

2. ダイオキシン胎生期・授乳期暴露のアカゲザル児の生後発育に及ぼす影響

隅田 寛 ----- 21

3. 胚幹細胞（ES細胞）に対する受容体シグナルを介する化学物質の胎児毒性

モデルとしての有用性の検討

高木 篤也 ----- 27

4. 受容体原性シグナルを介したエピジェネティック発がんの分子機能解析

菅野 純 ----- 31

5. 細胞アレイを指標とした内分泌かく乱化学物質の影響

矢守 隆夫 ----- 37

6. ヒト型モデル動物によるAhRの分子基盤解析とAhRの生理的プロセスへの関与

藤井 義明 ----- 41

7. ヒト型モデル試験系による内分泌かく乱化学物質の影響解析

鎌滝 哲也 ----- 45

8. 齧歯類前立腺を用いた内分泌かく乱化学物質の新生仔暴露の作用

藤本 成明 ----- 49

9. 甲状腺ホルモンかく乱物質の作用機構の解明：ラットからヒトへ

加藤 善久 ----- 53

10. 受容体シグナルを介する毒性評価に関するリスクコミュニケーション

井上 達 ----- 59

11. 受容体シグナルを介する毒性物質の有害性評価法及び一般化スクリーニング

試験スキームの国際動向に関する研究

広瀬 明彦 ----- 63

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 75

IV. 研究成果の刊行物・別冊 ----- 79